

# 平成 21 年度決算報告書



株式会社エフエム東京

平成 22 年 5 月 26 日

報道各位

株式会社エフエム東京

## 平成 21 年度業績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、内外の経済対策の効果や輸出の回復を背景とした景気持ち直しの兆しは見られたものの、全体的にはデフレ傾向が続き、雇用・所得環境も低調なまま推移するなど、依然として厳しい状況が続きました。広告市場もこの影響を強く受け、平成21年の日本の広告費（㈱電通推定）は5兆9,222億円（前年比11.5%減）となり、日本の広告費推定開始以来、最も大きな減少率となりました。うち、新聞・雑誌・テレビ・ラジオの所謂マスコミ4媒体の広告費は前年比14.3%減で、5年連続の減少となったのに対し、インターネット広告費は前年比1.2%増と数字を伸ばし、テレビに次ぐ規模の広告メディアに成長、メディア環境をめぐる構造変化が加速する一年となりました。

このような状況の中、当連結会計年度の当社グループの売上高は202億9千1百万円（前期比11.0%減）となりましたが、前連結会計年度に行ったグループ再編による不採算事業整理の効果等により、営業利益は7億2千9百万円（前期比42.1%増）、経常利益は6億6千9百万円（前期比51.9%増）、当期純利益は5億4千7百万円（前期比33.2%増）となりました。

当社単体の業績につきましては、放送広告収入の減少により売上高が132億8千2百万円（前期比11.9%減）となり、営業利益は7億2百万円（前期比17.7%減）、経常利益は6億9千2百万円（前期比33.7%減）、当期純利益は6億4千9百万円（前期比44.2%減）となりました。

### 〈放送事業活動〉

FM放送事業においては、当社の理念である「アースコンシャス～地球を愛し、感じる心～」 「ヒューマンコンシャス～生命を愛し、つながる心～」の精神を、周波数「80.0MHz」にちなんだコミュニケーション・キャッチフレーズ「80.Love」（エイティ ポイント ラブ）に集約し、独自の視点（ポイント）で優しさや思いやり（ラブ）を込めた番組発信に取り組むことにより、ステーション・アイデンティティーのさらなる明確化に取り組みました。

4月の番組改編では、平日朝のニュースワイド「クロノス」（月～金曜6:00～8:30）に人気スポーツジャーナリスト中西哲生を起用し、内容を強化しました。また、当社の看板番組である「JET STREAM」（月～金曜深夜0:00～0:55）では、ラジオレギュラー初挑戦となる俳優の大沢たかおを新機長に迎え、新たな歴史をスタートしました。10月からは、リスナーの週末のライフスタイルの変化に対応した土曜朝の新ワイド番組「Saturday goes on」（土曜5:00～7:00）や父と子の交流をコンセプトに「親と子の絆」をテーマにした「ROUTE 38」（土曜15:30～15:55）、実力派ピアニスト横山幸雄が一流演奏家とともに生演奏を毎回届ける「天才ピアニスト横山幸雄のピアノでめぐり逢い」（日曜深夜0:30～1:00）等の新番組を開始。さらに1月からは、毎日の「食」の安全・安心への関心が高まる中、消費者と生産者の目線で日本の「農業」の今と未来を応援する番組「あぐりずむ」（月～木曜14:20～14:30）をスタートするなど、リスナーの環境変化や心理変化を踏まえた多彩な新企画を投入しました。

特別企画としては、6月に、アメリカのヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで日本人として初のグランプリに輝いたピアニスト辻井伸行の凱旋演奏会を当社ホールにて実現、その模様を生中継し（6月11日 15:00～）、他メディアでも大きく取り上げられまし

た。また、9月には、FM受信機能付携帯電話（FMケータイ）の聴取者拡大を目指す「MEET THE MUSIC 09」キャンペーンの一環として、平成21年5月に多くのファンに惜しまれつつ逝去した忌野清志郎へのトリビュート番組を全国民放FM53局で放送しました（当社放送は9月19日深夜1:00～3:00）。

衆議院議員総選挙に際しては、政治に関心の薄い20代・30代の投票率10%アップを目標としたキャンペーンを展開、民主党の岡田幹事長（当時）、自民党の細田幹事長（当時）が若者の街・渋谷のスペイン坂スタジオに生出演、両者の政策論はもちろん、ピアノ演奏の披露など政治家が普段見せない別の表情が話題となりました。

また、健康志向からランニング人気が定着する中、11月には皇居・半蔵門に面した本社ビルに皇居ランナー向け施設「JOGLIS」（ジョグリス）をオープン。これに先立ち10月から日曜の早朝にランナー向け新ワイド番組「JOGLIS」（日曜5:00～7:30）をスタート、番組連動のランナー参加イベントなど、新たなライフスタイルの提案を行いました。

一方、新たな聴取層の創出と都市部難聴取エリア対策のため、多機能携帯電話として人気のiPhone向けのサービスとして、日本の放送局では初となる24時間・地上波FM放送のIPサイマル（同時送信）の実証実験を12月に開始、これまで放送に接する機会の少なかったユーザー層も巻き込み大きな反響を呼びました。これに続き、3月には当社をはじめ東京・大阪の民放ラジオ局13社と株式会社電通の共同運営によるPC端末向けのIPサイマルラジオ“radiko”の実用化試験配信がスタートするなど、放送聴取環境改善への様々な試みに注力しました。なお、1月には、東京・八王子市に中継局を新設し、これまで地形の影響で難聴取エリアであった八王子地区10万5千世帯のリスナーの聴取環境を改善しました。

デジタル時代に向けたマルチメディア放送（移動受信地上放送）に関しては、総務省が設置した懇談会の報告書において、「地方ブロック向けマルチメディア放送」を平成23年7月の地上テレビジョン放送完全デジタル化後のVHF-LOW帯（現行のTV1～3チャンネル）において実現させる方向性が示されております。当社始めJFN系列の民放FM局、および株式会社ジャパンエフエムネットワーク（持分法適用関連会社）は、委託放送事業者（ソフト事業者）としての参入を目指し、地域ブロックごとに委託放送事業企画会社6社を10月7日付で設立。その後、3月には既存放送事業者以外の新規参入企業からの資本参加による増資を行いました。一方、「福岡ユビキタス特区」では、平成21年3月31日付で「実験試験局」免許が付与されたことを受け、自治体・新規参入企業とともに、携帯端末向けコンテンツやバス・船舶に設置された公共デジタルサイネージ向けのコンテンツ配信など、具体的なサービスモデルの実証実験活動を展開しております。今後は、総務省情報通信審議会によって放送制度と放送方式が決定し、その後公募を経て免許事業者が決定する見込みとなっており、当社は平成23年7月以降の放送開始に向け、放送免許の取得を目指してまいります。

#### 〈企画・制作事業活動〉

企画・制作事業においては、松任谷由実「TRANSIT 2009」ツアー全国68公演の運営に参画したほか、2日間で15万人を動員した「GLAY」デビュー15周年記念・日産スタジアムライブを始め、「山下達郎」、「Mr.Children」、「安室奈美恵」、「ドリームズ・カム・トゥルー」、「福山雅治」、「浜崎あゆみ」、「B'z」、「木村カエラ」、「perfume」、「ビヨンセ」、「バックストリート・ボーイズ」、「ホイットニー・ヒューストン」等、国内外の人気アーティストのコンサートを主催し、ミュージックシーンに数多くの話題を提供しました。

20回目の節目を迎えた4月22日の「アースデー・コンサート」では、若手女性シンガーの中で人気・実力No.1といえる「絢香」によるワンマンライブが実現、世界各国への中継を通じ、当社の「アースコンシャス」の理念を広く発信しました。環境問題が深刻化する中国の放送局からは前年に引き続き中継チームが来日、自ら武道館より中国全土に向けて

「アースコンシャス」のメッセージを発信しました。

映画製作においては、人気テレビドラマの映画版「ハゲタカ」、日本アカデミー賞受賞3女優が共演した松本清張生誕100年記念作品「ゼロの焦点」、少年と犬の感動物語「スノープリンス」、山田洋次監督作品「おとうと」を共同製作、幅広い層の映画ファンに話題作を届けました。

#### 〈インフォメーションプロバイダー事業活動〉

当社連結子会社ジグノシステムジャパン株式会社では、主力の携帯電話向けモバイルコンテンツ事業（B to C）において、自社の強みである待受Flash®サイトやきせかえツール、FM番組と連動した占いサイト、F1層（20歳～34歳の女性）をターゲットとしたゲームサイト等の新規開発に注力し、年間で32の公式モバイルサイトを新設しました。一方、モバイルソリューション提供分野（B to B）では、大手ゲームソフトメーカーから携帯電話向けゲームサイトの開発を受託するなど、法人顧客からの開発受託の拡大に努める一方、前連結会計年度に受託したストレージサービス（ユーザがあらゆるデータを格納するサイト）のノウハウを活かした自社ストレージサイト「光みんなのポケット」をスタートさせ、NTT東日本が提供するフレッツ光メンバーズクラブ会員向けサービスとして採用されました。

#### 〈賃貸事業活動〉

オフィスビル「JFNセンター」「メディアセンター」等の賃貸事業を展開いたしました。

#### 〈その他の事業活動〉

本社および賃貸用オフィスビル内の直営レストラン事業等を展開しました。なお、当連結会計年度中にレストラン3店舗のうち1店舗を皇居ランナー向け施設「JOGLIS」に改装し、番組と連動した新たな情報発信拠点としてスタートしました。

また、当社の社会的活動の一環として運営するTOKYO FM少年合唱団は、創立24周年を迎え、ソプラニスタ岡本知高との共演、新国立劇場で行われたブッチーニの歌劇「トスカ」、東京芸術劇場で行われた「トゥーランドット」への出演等、多彩な活動を行いました。

以上

## 前期比較損益計算書（連結）

平成21年4月1日～平成22年3月31日

（単位：千円）

| 勘定科目         | 平成22年3月期<br>(H21.4.1～H22.3.31) | 平成21年3月期<br>(H20.4.1～H21.3.31) | 前期比    |
|--------------|--------------------------------|--------------------------------|--------|
| 売上高          | 20,291,604                     | 22,801,730                     | 89.0%  |
| 売上原価         | 13,555,319                     | 15,177,990                     | 89.3%  |
| 売上総利益        | 6,736,285                      | 7,623,740                      | 88.4%  |
| 販売費及び一般管理費   | 6,006,466                      | 7,110,237                      | 84.5%  |
| （内のれん償却額）    | 102,876                        | 104,112                        | 98.8%  |
| 営業利益         | 729,818                        | 513,503                        | 142.1% |
| （売上高営業利益率）   | 3.6%                           | 2.3%                           |        |
| 営業外収益        | 132,183                        | 214,082                        | 61.7%  |
| 営業外費用        | 192,924                        | 286,995                        | 67.2%  |
| 経常利益         | 669,077                        | 440,590                        | 151.9% |
| （売上高経常利益率）   | 3.3%                           | 1.9%                           |        |
| 特別利益         | 124,093                        | 223,200                        | 55.6%  |
| 特別損失         | 272,623                        | 1,095,096                      | 24.9%  |
| 税金等調整前純利益    | 520,547                        | △ 431,305                      | —      |
| 法人税、住民税及び事業税 | 18,281                         | 41,798                         | 43.7%  |
| 法人税等調整額      | △ 5,232                        | △ 792,575                      | —      |
| 少数株主損失       | 39,568                         | 91,160                         | 43.4%  |
| 当期純利益        | 547,067                        | 410,631                        | 133.2% |

（注）金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 前期比較損益計算書（当社単体）

平成21年4月1日～平成22年3月31日

（単位：千円）

| 勘定科目         | 平成22年3月期<br>(H21.4.1～H22.3.31) | 平成21年3月期<br>(H20.4.1～H21.3.31) | 前期比    |
|--------------|--------------------------------|--------------------------------|--------|
| 売上高          | 13,282,539                     | 15,076,455                     | 88.1%  |
| 売上原価         | 8,686,458                      | 9,747,746                      | 89.1%  |
| 売上総利益        | 4,596,080                      | 5,328,709                      | 86.3%  |
| 販売費及び一般管理費   | 3,893,486                      | 4,474,839                      | 87.0%  |
| 営業利益         | 702,594                        | 853,870                        | 82.3%  |
| （売上高営業利益率）   | 5.3%                           | 5.7%                           |        |
| 営業外収益        | 134,769                        | 406,241                        | 33.2%  |
| 営業外費用        | 145,074                        | 215,155                        | 67.4%  |
| 経常利益         | 692,289                        | 1,044,956                      | 66.3%  |
| （売上高経常利益率）   | 5.2%                           | 6.9%                           |        |
| 特別利益         | 81,537                         | 61,013                         | 133.6% |
| 特別損失         | 138,994                        | 491,707                        | 28.3%  |
| 税引前当期純利益     | 634,831                        | 614,262                        | 103.3% |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,140                          | 14,935                         | 34.4%  |
| 法人税等調整額      | △ 19,609                       | △ 564,762                      | —      |
| 当期純利益        | 649,301                        | 1,164,088                      | 55.8%  |

（注）金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 前期比較売上高内訳書(当社単体)

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位:千円)

|         | 平成22年3月期<br>(H21.4.1～H22.3.31) | 平成21年3月期<br>(H20.4.1～H21.3.31) | 前期比    |
|---------|--------------------------------|--------------------------------|--------|
| 売上高     | 13,282,539                     | 15,076,455                     | 88.1%  |
| 放送事業収入  | 11,800,561                     | 13,587,677                     | 86.8%  |
| 放送収入    | 8,007,746                      | 9,399,812                      | 85.2%  |
| タイム放送料  | 5,946,247                      | 7,109,902                      | 83.6%  |
| スポット放送料 | 2,061,499                      | 2,289,910                      | 90.0%  |
| 制作収入    | 1,894,531                      | 2,204,855                      | 85.9%  |
| その他     | 1,898,282                      | 1,983,010                      | 95.7%  |
| 企画事業収入  | 774,584                        | 730,125                        | 106.1% |
| 賃貸事業収入  | 561,849                        | 578,929                        | 97.0%  |
| その他事業収入 | 145,543                        | 179,723                        | 81.0%  |

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 45期(通期)広告会社取り扱い順位

### <総合順位>

| 45期 | 44期 | 広告会社            |
|-----|-----|-----------------|
| 1   | 1   | 電通              |
| 2   | 2   | 博報堂DYメディアパートナーズ |
| 3   | 3   | アサツー ディ・ケイ      |
| 4   | 4   | ビデオプロモーション      |
| 5   | 5   | オフィスフラッグス       |
| 6   | 7   | 京橋エイジェンシー       |
| 7   | 9   | 三晃社             |
| 8   | 6   | オリコム            |
| 9   | 38  | 読売エージェンシー       |
| 10  | 14  | 中宣メディア          |

### <タイム>

| 45期 | 44期 | 広告会社            |
|-----|-----|-----------------|
| 1   | 2   | 電通              |
| 2   | 1   | 博報堂DYメディアパートナーズ |
| 3   | 4   | ビデオプロモーション      |
| 4   | 3   | アサツー ディ・ケイ      |
| 5   | 7   | オリコム            |
| 6   | 29  | 読売エージェンシー       |
| 7   | 5   | オフィスフラッグス       |
| 8   | 6   | コスモ・コミュニケーションズ  |
| 9   | 8   | ガイアコミュニケーションズ   |
| 10  | 15  | 東急エージェンシー       |

### <スポット>

| 45期 | 44期 | 広告会社              |
|-----|-----|-------------------|
| 1   | 1   | 電通                |
| 2   | 2   | 博報堂DYメディアパートナーズ   |
| 3   | 3   | 三晃社               |
| 4   | 4   | 京橋エイジェンシー         |
| 5   | 5   | アサツー ディ・ケイ        |
| 6   | 20  | 放送文化事業            |
| 7   | 8   | アイアンドエス・ビービーディーオー |
| 8   | 6   | 毎日広告社             |
| 9   | 19  | 日本経済広告社           |
| 10  | 23  | ビデオプロモーション        |



# 平成22年3月期決算短信

平成22年5月26日

会社名 株式会社 エフエム東京

URL <http://www.tfm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富木田 道臣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務局長 (氏名) 小林 哲 TEL (03)3221-0080

定時株主総会開催予定日 平成22年6月23日 配当支払開始予定日 平成22年6月24日

(百万円未満切捨て)

## 1. 22年3月の連結業績 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

### (1) 連結経営成績

|        | 売上高    |        | 営業利益 |       | 経常利益 |      | 当期純利益 |      |
|--------|--------|--------|------|-------|------|------|-------|------|
|        | 百万円    | %      | 百万円  | %     | 百万円  | %    | 百万円   | %    |
| 22年3月期 | 20,291 | △ 11.0 | 729  | 42.1  | 669  | 51.9 | 547   | 33.2 |
| 21年3月期 | 22,801 | △ 12.3 | 513  | 127.8 | 440  | 99.6 | 410   | —    |

|        | 1株当たり当期純利益 |    | 潜在株式調整後<br>1株当たり当期純利益 |   | 自己資本<br>当期純利益率 | 総資産<br>経常利益率 | 売上高<br>営業利益率 |
|--------|------------|----|-----------------------|---|----------------|--------------|--------------|
|        | 円          | 銭  | 円                     | 銭 | %              | %            | %            |
| 22年3月期 | 610        | 60 | —                     | — | 2.3            | 1.8          | 3.6          |
| 21年3月期 | 458        | 32 | —                     | — | 1.8            | 1.1          | 2.3          |

(参考) 持分法投資損益 22年3月期 12百万円 21年3月期 74百万円

### (2) 連結財政状態

|        | 総資産    |  | 純資産    |  | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |    |
|--------|--------|--|--------|--|--------|----------|----|
|        | 百万円    |  | 百万円    |  | %      | 円        | 銭  |
| 22年3月期 | 37,420 |  | 23,935 |  | 63.3   | 26,417   | 89 |
| 21年3月期 | 37,432 |  | 23,252 |  | 61.2   | 25,588   | 50 |

(参考) 自己資本 22年3月期 23,669百万円 21年3月期 22,926百万円

## 2. 配当の状況

|                | 1株当たり配当金 |    |    | 配当金総額<br>(合計) | 配当性向<br>(連結) | 純資産<br>配当率(連結) |      |
|----------------|----------|----|----|---------------|--------------|----------------|------|
|                | 中間期末     | 期末 | 合計 |               |              |                |      |
|                | 円        | 銭  | 円  | 銭             | 百万円          | %              |      |
| 21年3月期         | 30       | 00 | 30 | 00            | 60           | 00             | 0.2  |
| 22年3月期         | 30       | 00 | 45 | 00            | 75           | 00             | 0.2  |
| 23年3月期<br>(予想) | 30       | 00 | 30 | 00            | 60           | 00             | 10.2 |

(注) 22年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 開局40周年記念特別配当 15円00銭

## 3. 23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

|     | 売上高    |     | 営業利益 |      | 経常利益 |      | 当期純利益 |      | 1株当たり<br>当期純利益 |    |
|-----|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|----------------|----|
|     | 百万円    | %   | 百万円  | %    | 百万円  | %    | 百万円   | %    | 円              | 銭  |
| 通 期 | 20,522 | 1.1 | 927  | 27.1 | 883  | 32.0 | 528   | △3.4 | 590            | 02 |

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
- (2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年3月期 900,000株 21年3月期 900,000株
- ② 期末自己株式数 22年3月期 4,045株 21年3月期 4,045株

（参考）個別業績の概要

1. 22年3月期の個別業績（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

|        | 売上高    |        | 営業利益 |        | 経常利益  |        | 当期純利益 |        |
|--------|--------|--------|------|--------|-------|--------|-------|--------|
|        | 百万円    | %      | 百万円  | %      | 百万円   | %      | 百万円   | %      |
| 22年3月期 | 13,282 | △ 11.9 | 702  | △ 17.7 | 692   | △ 33.7 | 649   | △ 44.2 |
| 21年3月期 | 15,076 | △ 12.3 | 853  | △ 6.4  | 1,044 | 8.9    | 1,164 | 67.1   |

|        | 1株当たり当期純利益 |    | 潜在株式調整後<br>1株当たり当期純利益 |   |
|--------|------------|----|-----------------------|---|
|        | 円          | 銭  | 円                     | 銭 |
| 22年3月期 | 721        | 45 | —                     | — |
| 21年3月期 | 1,293      | 43 | —                     | — |

(2) 個別財政状態

|        | 総資産    |  | 純資産    |  | 自己資本比率 |  | 1株当たり純資産 |    |
|--------|--------|--|--------|--|--------|--|----------|----|
|        | 百万円    |  | 百万円    |  | %      |  | 円        | 銭  |
| 22年3月期 | 36,109 |  | 24,670 |  | 68.3   |  | 27,411   | 75 |
| 21年3月期 | 35,456 |  | 23,831 |  | 67.2   |  | 26,479   | 80 |

2. 23年3月期の個別業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

|     | 売上高    |     | 営業利益 |     | 経常利益 |     | 当期純利益 |        | 1株当たり<br>当期純利益 |    |
|-----|--------|-----|------|-----|------|-----|-------|--------|----------------|----|
|     | 百万円    | %   | 百万円  | %   | 百万円  | %   | 百万円   | %      | 円              | 銭  |
| 通 期 | 13,669 | 2.9 | 725  | 3.3 | 701  | 1.3 | 477   | △ 26.5 | 530            | 20 |